

DX化＝暮らしを便利にする取組

全国的に人口減少や少子高齢化が加速する中、労働の担い手が減っても現在と同じ機能を維持するために、デジタルを活用して便利で付加価値の高いサービスを創造する、「DX（デジタルトランスフォーメーション）」が必要になっています。

このDXで、私たちの暮らしが、少しずつ変わってきています。マイナンバーカードを使って証明書をコンビニで取得できるようになったり、子どもたちがタブレットで学ぶICT教育が始まったり。役場の手続きもオンライン化が進み、時間や手間を省けるようになりました。三芳町でも、DXの波が確かに広がっています。今回の特集は「DX化でみよし未来計画」。暮らしを便利にする三芳町のDXの取組みに迫ります。

難しい横文字を解説!

DXとは？ デジタル〇〇〇の略

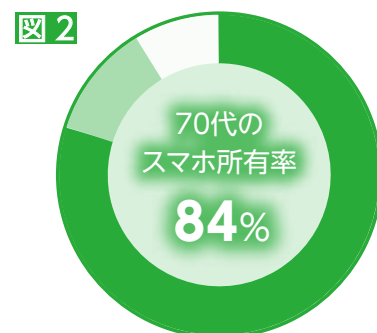
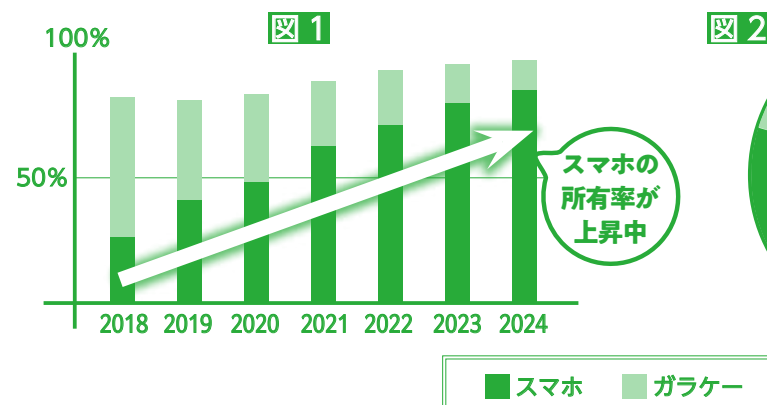
DXは「Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）」の略で、「デジタル技術を活用して人々の生活をより良いものへと変革（トランスフォーメーション）する」ことを意味します。

英語では①「横断する」を意味する「Trans（トランス）」を「X」と略す習慣があること、②プログラミング用語で「DT」が既に存在していることなどから、「DT」ではなく「DX」と表記します。

Digital X-formation → DX

シニアのスマホ保有率が上昇中

70代のスマホ・従来型のケータイ（いわゆるガラケー）の所有率の推移（図1）と70代のスマホ所有率のグラフ（図2）。シニアにもデジタル化時代の波が広がっています。



【参考】「調査概要 — 「2024年シニア調査」 —」モバイル社会研究所

70代でも8割以上の人がスマートフォンを持つというこのデジタル化時代——。

三芳町でも、この時代に合わせて、デジタル技術を業務の効率化や行政サービスの向上につなげる、未来に向けた取り組みが進んでいます。■



老人クラブ連合会

会長 矢島 繁太郎さん

老人クラブ連合会

副会長 小高 尚子さん

老人クラブ連合会

副会長 塩野 正巳さん

老人クラブ連合会

老人クラブでは、高齢者が楽しく健康づくりや仲間づくりができるよう、「演芸大会」や「グランドゴルフ」、「ワナゲ」、「地元産の干柿作り」、「門松作り」などを実施しています。興味がある人は下記まで。

▶ 対象：おおむね 60 歳以上

☎ 福祉課福祉庶務担当 ☎ 176・192

みよし未来計画
DX化で